

会 議 名 議会改革特別委員会
開閉日時 平成24年11月5日（月）
午前10時00分～午前11時02分
会 場 委員会室

1. 出席者

2番 黒川美克、 6番 幸前信雄、 7番 杉浦敏和、
10番 鈴木勝彦、 11番 鷺見宗重、 13番 磯貝正隆、
15番 小嶋克文
オブザーバー 議長、副議長

2. 欠席者

なし

3. 傍聴者

柳沢英希、浅岡保夫、柴田耕一、内藤とし子、内藤皓嗣

4. 説明のため出席した者

なし

5. 職務のため出席した者

議会事務局長、書記2名

6. 付議事項

- 1 特別委員会第22回の検討結果について
- 2 議会報告会の反省について
- 3 議会報告会開催報告の議会だより等での公表について
- 4 その他

7. 会議経過

委員長挨拶

委員長 次に、本委員会記録の署名委員の指名についてであります。本件については、委員長から御指名申し上げて御異議ございませんか。

異 議 な し

委員長 御異議なしと認め、副委員長の磯貝正隆委員を指名いたします。

議 題

1 特別委員会第21回の検討結果について

委員長 過日、「議会改革特別委員会〔第21回〕検討結果について」を配布させていただき、お目通しをしていただいていると存じますが、何か御意見等がございましたら、お願いいたします。

「なし。」と発声するものあり。

委員長 なければ、次に、一つ議会報告会の反省についてを議題といたします。

2 議会報告会の反省について

委員長 この点につきましては、感想、反省点、改良点など、各委員の方から御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。まず初めに、10番、鈴木勝彦委員。

意(10) それでは私のほうから、市政クラブを代表してという御意見も一つ入れて発言をさせていただきます。その中で、いろいろクラブの中で出た意

見としましては、パワーポイントを利用した発表、これも非常に効果があるわけですが、それに頼りすぎているといいますか、もう少しペーパーを提出して、意のこもった発表をできないかというような御意見もありました。そこら辺の使い勝手をこれから検討していただければ、ありがたいかなと思っています。それと、10分という枠があるということで、なかなかその委員会によっては、今回、決算特別委員会もありましたので、非常に内容的には濃い内容でありながら、10分という制約の中で発表したということで、ここの時間の配分というのも少し検討するべきではないかという意見もありました。それと報告会と、それから意見交換会というのを一つわけて、今回、意見交換会をやらなかったわけですが、報告会と意見交換会のあり方というのをですね今後も、もう少し煮詰めていく必要があるのではないかということでもあります。それと、各委員会それぞれフォーマットが少し違っていたように思われますので、これを統一したほうがいいのではないかという御意見をいただいております。以上、4点ほどクラブの中での反省点ということで、意見が出ておりましたので発表させていただきました。よろしく願いいたします。

委員長 市政クラブを代表してということでもありますので、各会派の方から一人ずつ、共産党さん、鷺見宗重委員。

意（11） この報告会の中にもありましたけども、日程の21日が本当に良かったかという問題もありまして、日程を考える場合は、やはりもう少し考えてやったらどうかなというのと、それから、いいです。それだけです。

委員長 次に、公明党さん、15番、小嶋克文委員。

意（15） 今回、2時間ということをやったわけですが、おそらく聞く方の側からすると、結構やはりボリュームがあるんじゃないかと。ということは、逆に言うとちょっとなかなか2時間ずつと聞くというのは結構大変だなという感じもしました。それともう一つ、やはりそれに控えて、やはり市民の方から意見を言う場がね、時間的になかったということで、やはりみえる方は、やはり何か自分も一言ね、異の市政とか自分の思っていることを言いたいような人もやはりみえておると思いますので、そこら辺の何か、もう一つ皆さんが意見なり考えを述べる場というものを、今後どういうふうにつくっていくかと

いうことも大事だと思います。それから、用語も含めてですね、やはりどうしても僕達はもう慣れていきますので、それが当たり前になっておりますけども、やはり市民からすると、もっとわかりやすい説明というものが、やはり必要ではないかと思いました。

委員長 2番、黒川委員。

意(2) 市民クラブとしては、今、鷺見委員のほうから言われました日程ですね、結果、もともと21日のときは私どもの方も翼のほうで行事が入っておったんですけれども、ほかでもいくつか行事や何かあって、かなり意見や何かでも出てましたように、もうちょっとそのいろんな行事の重なるときにやるのはどうかというような意見もありましたけれども、その辺のところは一考する余地があると思います。それからあとは公明党さんが言われた、小嶋委員が言われたとおりの意見と同じでございます。

委員長 ほかに、何かこの場で言っておきたいという話がございますら。

意(13) 今、お話の日程ですが、これからは、「ぴいふる」完成後にしていただきたい。これは、お願いをしておきたいなと思います。これが、「ぴいふる」ができておれば、利用できるということ。フロアーのお客さんに対しても使い勝手がいいのかなと思いますので、どうかなと思います。

意(15) ちょっと確認で、僕、アンケートの中身をあまり見ていないんですけど、今回、参加した中で、先回に続いて見えた方はわかりますかね。

委員長 アンケートの内容が、そうなっていないので多分わからないと思います。

意(15) やはりね。できたら、ちょっとあとでね考えてね、先回も参加しましたかというね、アンケートも取ったほうがよかったのかなと思って。

委員長 集約結果実は、多分先週の金曜日だったと思いますけど、アンケートの集約で小野田議員にお願いしていたんですけども、紙のほうで出ていたデータがありましたので、多分これ見ているとデータベース化されていると思いますので、データのほうは、あとで小野田議員がみえたらいただくということで、紙自体は、また皆さん中に入れさせていただきますので、よろしく願いいたします。今、いろいろ御意見が出たんですけども、次回以降について、具体的

にどうするという話を決めておかないといけない、まず日程の話が多分そうなるんですけどね。それで、次回の日程については場所の関係があつて、5月11日ということを決めさせていただいておりますけども、これは、「ぴいぷる」の発行後になるんですか、ちょっとその辺、事務局のほう確認させていただきたいんですけど。

事務局 3月定例会号の発行が、5月1日号の広報の発行日に配布ということになりますので、配布後にはなりますが、ただ皆さんの手元に届く日にちの関係もありますので、もしかするとちょうどぎりぎりぐらいに、最近ですと1週間以上かかるようなことはないかとは思うのですけれども、その辺のところがあるかと思えます。発行後にはなります。

委員長 具体的にいうと、1日号で、市の広報が配られるのと同時に配られるというふうに理解して、問題ないですか。

事務局 はい、その通りでございます。

委員長 ですから、1カ月ちょっとすぎると基本的に、例えば3月議会の内容ですと、翌々月の1日号に掲示されるということで、先ほど日程の話もありましたけども、そのタイミングでやっていけば事前に議会がどういう議論をしたかというのは、皆さんにお知らせしたあとに議会報告会を開催できるというふうに理解させていただければよろしいんですね。

事務局 はい。

委員長 あと、日程の話もさせていただきたいんですけども、5月はこういう形で、3月議会の報告を5月に実施していくということであれば、先ほどの説明で5月1日には「ぴいぷる」が発行されるということで問題ないと思えますけれども、決算月のタイミングにつきましては、11月1日以降であれば、発行されたあとというふうになりますので、次年度以降は、そのタイミングで実施させていただければ問題ないかと思えます。あと、行事との兼ね合いについては、逆に、それを全部避けるということは基本的に難しいかと思えますので、こちらのほうが先にいついつ実施するというので、掲示させていただいて、あとでその町内さんの行事とかぶつけられると、それはそれで、申し訳ないですけどもしょうがないのかなと思えますので、なるべく早く告知させていただ

いて実施していくという方向で、そういう形でどうですか。

異 議 な し

委員長 よろしいですか。だから来年度以降は、9月定例会の議会報告は、11月以降で基本的に市の行事が外れているようなところでチョイスさせていただいて、これが5月のタイミングか何かでもう決めさせていただければいいかと思えますけども、そういう形で進めさせていただきますけど、よろしいですか。

「はい、いいです。」と発声するものあり。

意（10） 今、各委員の方からやはり多く出ている意見は、日程と時間だと思います。ある一部、帰りがけに言われた方が、やはり夜は一度やってみたらどうかというような意見もいただいたと思います。アンケートの中、アンケートは、私ちょっと読んでいないものですからわかりませんが、夜ならどうかという御意見もありました。確かに昼間は、やはり女性の方が出やすいという御意見で、多分昼間にしたのかなというようなことだったと思えますけども、これで2回昼間をやりました。一つ夜も検討に入れる必要があるのかなというような気がするものですから、そこら辺、少し皆さんの御意見を伺えたらと思えますけども、はい。

委員長 今、10番、鈴木委員のほうから夜間の開催ということで、御意見いただきましたけども、これに関して。

意（2） ぜひ、夜も一度開催をしていただきたいと思います。

委員長 ただですね、次回については、11日の昼間ということで、もう議会広報に載せたんですよね。11日の時間帯まで掲示させていただいていたような気がするんですけども。

事務局 今回の議会だよりのほうには、午後2時という言葉を入れて発行のほうをしております。ただし、予定という言葉を使っておりますので、その辺は

まだ何とでもかなるのかなと思います。ホームページ上も、午後2時から予定というふうで、掲載をさせていただいております。

委員長 その辺も含めて、11番、鷺見委員、何か御意見ございますか。

意(11) 夜もいいということですのでね。ぜひとも時間帯で来る人も違うだろうという考えもありますんでね、ぜひお願いしたいなというふう思います。

委員長 次回からどうすればいいです。

意(11) 次回。予定という言葉が入っているのであれば、変えてもいいのかなというふうに考えますけども。

委員長 15番、小嶋委員。

意(15) 僕も、今、鷺見委員が言われたように、次回から検討、夜の開催、検討してもいいと思います。

委員長 黒川委員もよろしいですか。

意(2) はい。

委員長 具体的な時間で、もう場所の関係もありますので、今回、5月11日のこの時間帯というのは、場所取りのためにあらかじめ予約するというので取らせていただいているものですから、できるのであるならば、この場で決めさせていただいても支障ないかと思うんですけども。夜の時間、具体的な時間帯というのは、鈴木委員、何か御意見ありますか。

意(10) 5月ですと、日もかなり高い時期、日暮れが遅い時期ですかね、一番。7時という時間になりますかね。遅いですかね。そうすると2時間という9時になってしまう。6時。7時だと遅いですかね。6時かな。ですので、6時というとすごく明るいのかなという気がしますけども、当然、主婦の方、若い方ですと、少し無理があるのかなあるいは、土曜日ですので、勤めてみえる方でも関心のある方は出られるかと思えますけども、6時というのが、あとを考えるとね、6時という時間帯のが、いいかなと思えますけども。

委員長 今、鈴木委員のほうから6時からの開催でどうかという案がありましたけども、反対される方みえますか。決まりではないですから、いろいろ試してみて、人がたくさん来れる時間ということでやらせていただければいいと思っていますので、まずければ、また時間帯を変更をしていくということで、こ

ちらも手探りの状態でやらせてもらっていますので、次回については、5月11日、午後6時から午後8時までの予定でやらせていただきたいと思いますけれども、そのように変更させていただいてよろしいですか。

意見なし

「日曜日ですか。」と発声するものあり。

委員長 土曜日です。後、そのほかですね一つずついきますけども、今回は会場が、一番最初に行った市民センターのA、B、Cの会議室をぶち抜いてという形になります。1回目やらせていただいて、おわかりだと思っんですけども、スクリーンが非常に小さくて見づらいような状況になります。そんな中で実施すると、冒頭、鈴木委員のほうからパワーポイントの話が出ましたけども、パワーポイントで内容確認していくというのは難しくなりますので、そこにあまり工数を注入してもあまり意味がないのかなと。だから、手元の資料のほうに見られるような形のほうのほうがいいのかなというふうに思っんですけど、その辺に関して、何か御意見ございませんか。

意（11） 手元の資料ということですから詳しいものをやるのか、渡すのか、その発表するだけのものを渡すのかという問題になってくるんじゃないですかね。いかがですかね。私としては、詳しい資料を渡したほうがいいかなというふうに思います。

意（10） これはあくまで私の個人の考えですけども、パワーポイントも必要だと思います。大まかなその概要の内容のパワーポイントで映し出しておいて、説明員が少し詳しい内容の説明をそのペーパーでもって説明をすると、そのペーパーは当然会場にみえた方にも配布して、こういう意見があったあるいは賛成の意見があった、反対の意見があったという対比をしながらペーパーにまとめて、それを自分の言葉で噛み砕いて説明をすると、あまりパワーポイントに集中させないで、それぞれの委員の意見が、こんな意見あった、反対の意見があった、賛成の意見があったというような、生の意見を伝わるような発表の

仕方がいいのではないかなというふうに思っております。

委員長 今、10番、鈴木委員からそういう御意見をいただきましたけども、11番、鷺見委員、今、言われているような内容でよろしいですか。

意(11) はい。

委員長 小嶋委員、いいですか。

意(15) はい。

意(13) やらせていただいて、パワーポイントは、僕は必要ないと思いますので、例えば、大まかな流れはですね、資料で当然その見えないわけですから、後ろは。出す必要があるわけですから、資料として。ですから、そういった意味でいくとパワーポイントは必要ないのではないかなというふうに思いますので、いかがですかね。そう思いますよ、本当に。見えないのもですから、後ろは。

委員長 どうですか。今、そういう御意見いただきましたけども。

意(10) 時間的にも、前回も非常に見づらく、日が差し込んでいて見づらかった。今回も、今回は夜ですか。夜でも6時というところかなり明るい時間帯で、非常に見づらいということであろうと思いますので、逆に、そのB紙みたいなもので書いたほうが見やすいのかなという。

意(13) あのね、B紙も同じことなんです。だから、手元にきょうありますようにね、こういう次第を一つつけなければいいということです。僕が言うのはね。大まかなやつをね。

意(10) だから、基本的なものを図式化しておいて、それに言葉で説明をするという考えです。僕は。基本的なものを書いておいて、それにこういう内容ですということを詳しく説明するという。だから本当の、図なら図を示して、こういう流れですよという図を示しておいて、あと言葉で説明していくということ。

意(13) 要はね、その図をパワーポイントなり貼りだししても、後ろは見えないということなんで、僕が言っているのは。ですから、そんなことだったら最初からここに出しておくということなんです。僕はね。パワーポイントも貼りだしもすみませんがお年寄りが多いので、後ろは見えませんが、多分。はい。

だと思えますが。

意（10） あの試みとしてやるならば、私は賛成します。そういうね、試みとしてやる、やってみるといふ試みは、私は賛成しますので、皆さんの御意見がそうであればそれも一つ一考だと、私は考えております。

委員長 どうですか、今、そういう御意見いただきましたけども。手元の資料だけで、あとは説明員だけでやってみるのも、一つの手かな。特にアンケートの内容見ている、パワーポイントについての意見というのはあまり出ていないものですから、基本的にはあまり見てみえないのかなというのが、本音のところにございます。だから手元の資料を充実させてあげるほうが、それを見ていると下を向いてずっと追っているものですから、そちらのほうが自分たちも作業がしやすいですし、一度そういう形でアプローチしてもよろしいのかなと思うので、次回はそういう形でどうでしょうか。

「賛成です。」と発声するものあり。

委員長 そのほかですね、市政クラブさんのほうから10分の時間枠のお話もいただきました。これについても、各委員会でそれぞれテーマを決めて発表いただいているわけですけども、決算、予算月ということがあって、その内容、どうしても重くなると思います。ですから、重点的にそちらに配分するほうが利口なのかなとは思いますが、その辺は逆に言うと各委員会の中でもんでいただいて、その発表するテーマ、議案、これを絞っていただいて、その場で調整しかないのかなと思います。ただし、決算と予算委員の方のところは少し厚めということでどうでしょうかね、何か御意見ございませんか。

意（13） 今おっしゃっていただいたように、10分という、10分か15分という縛りがございましたのでね、報告も走ることを、走ることは言いませんけど、もう少し深く突っ込んで話ができたらなというふうに、特に予算だと思っています。決算は認定ですから、後追いになりますんであれですけども、特にその辺大事かなとは思っています。ですから常任委員会さんは常任委員会さんでそれぞれの委員会で、委員長おっしゃったようにお諮りをいただ

いて、検討いただくということですが、その2回のうちやはり決算、予算に重きをいただければ多分報告もしっかりとやれるのかなとは思いますが。

意(15) あの僕も今回みておまして、やはりちょっと常任委員会では取り上げる項目がちょっと多いかなと、はっきり言ってというより一つのこと、もっと徹底して掘り下げたほうがかえっていいのかなと。あと議案が、どういった議案があつて、どういった質疑内容が、これ配ってありますのでそれを見てもらえばわかりますので、できれば本当はやはり、三つも四つもやるのではなくて、一つのことをやはり一番市民に関心があるようなこと捉えて、もっと深く掘り下げてやったほうがかえっていいのかと思います。先に話されたように、本当に、それを1個、2個、3個やらなければいけないと走ってしまうわけでなかなかちょっと厳しいかなと思います。

委員長 今、そういう御意見いただきましたけども、深く掘り下げてやっていきたいという思いがありますし、伝えたいことはたくさんあるんですけども、冒頭、磯貝委員のほうからも話がありましたように、「ぴいぷる」をお配りした後になりますので、内容については事前にお手元にいつているということ前提に、議会の中でどういう議論がされて、結果的にこういうプロセスでこういう結果になったということを報告するほうが、議会報告会という場になりますので、行政の内容をお伝えするのも当然理解いただくために補助的にはさせていただくんですけど、メインはあくまで議会の中でどういうやりとりがあつて、結果的にこういう内容で落ち着いたということ報告する場かと思っておりますので、そういう形で各常任委員会の皆さんのほうも御検討いただきたいというふうに思います。それと決算、予算につきましては今年度新規でやっていく内容、それと決算につきましては実施した結果こういうふうになったということの報告になると思いますので、そういう報告がうまくできるように、逆にいうと、その内容、新規事業であればどういうことを狙いにして、どういうことやっていくんだと、結果的にこういうレベルまで変えていくんだという内容で市民の方にお伝えするほうがベストだと思いますので、当局の方の資料のつくり方、この辺のところもやはり市民の方の目線でわかりやすい内容に変えていければなというふうに思っておりますけども、その辺はどうですか。

意（13） おっしゃるとおりだと思います。

委員長 ちょっと申し訳ない、議事進行するのがメインなんですけども、感じる場所は、例えば、予算でこの事業こういうふうな形でこれだけの費用でこういうこと狙いにしてやっていきますという、新規事業という形で当局のほうから資料が提出されてくると思います。決算というのは、その実施した結果でこういうふうになったんだということを報告いただく場と思っていますんで、それをきちんとサイクルで回っていくようにすれば、当局の方からの報告の仕方、やり方、こちらからの意見の出方、これも変わってくると思いますんで、そういうふうに変えさせていただきたいなというふうに気はしているんですけども、特に決算の報告のところが主要新規で挙げたところが終わったタイミングできちんと報告いただけるような、主要成果というものではなくて、計画に対して実績がどうなったという見方のところがないとなかなかわかりづらいところがあって、そういう形にどこかのタイミングで当局側にも申し入れていきたいなという思いはあったんですけども、その辺はどうですか。

意 見 な し

委員長 主要新規で予算のときには何件か案件が出てまいると思います。それに対して、結果の報告という形にすれば、もともとこういう目標で、こういうことやってきたんですけども、こういう自分たちの予期せぬことが起こって、結果的にはこういうふうになったというのも、これも一つの報告だと思っていますので、すべてがすべて思いどおりに動くのであれば、世の中何でもかんでも自分たちの思いどおりにできるんですけども、そうではなくて、どういうところを苦労したという当局側の苦労の面も出してあげれば、一生懸命努力されているというところが見えてくると思いますので、そういうところもやはり出してあげればなというふうに感じております。そういう視点での報告もあってもいいのかなと思いますんで、次年度以降のところはそういう形でうまくサイクルで市民の方に対して計画時点とこうで、実績でこうなったということで報告できるような、そういう形に徐々にやはり変えていくほうがわかりやすいのか

など。例えば、事業仕訳けのときに、あれは結果報告でしたけども、計画ベースがあって、それで事業の結果こういうふうに行っているということがわかれば、何が問題でこうなったというのが見えてくると思いますので、そういう議論をしているんだということを議会の場でやっているということをやはりお見せする必要もあるかと思しますので、そういう形に変わってくればなという思いはあるんですけども、その辺、皆さんどうですかね。

意（10） 委員長の言うとおりで、新規事業に対してどういう議論をして論点がどこにあるのかというところをしっかりと委員の皆さん方の集中したその論点を、議論を、やはりそれを発表するのが市民が一番知りたがっている、僕はところだと思しますので、その中に行政としてどういう思いがあってこれを出してきたのか、この事業を進めていくんだというところですね、委員の皆さん方で論点をしっかり絞って意見を交わすと、それを報告会で発表するというのが一番理想ではないのかなと思っていますので、今、委員長に言われるように、しっかりこの論点をしっかりして結論を出したものに関しては、それを報告するという形が一番いいかと思っています。

委員長 ほかに、何か御意見ございませんか。

意（11） 予算の場合ですけど、やはり問題が大きなものが新規事業以外にもあると思うんですよね。そういう問題は、新規事業ではなくてやはり市民に報告すべきところはすべきではないかと思んですけども、いかがでしょうか。

委員長 今、鷺見委員のほうから新規事業に限った場面ではなくて、そのほかのところもという御意見が出されました。その辺についてはどうでしょうか。

意（13） 基本的にはそういうことなんで、新規に限らずということもあるでしょうけれども、やはり、この委員会の中でね、例えば、予算特別委員会の報告はこれとこれにしますよという部分については、当然、皆さんの承認を得るというぐらいのことでないと、議会がまとまってやれるということになりませんので、それは当然その中でもんでいただくというふうに思っているところですがね。

意（10） 委員会の中での議論は、僕はおおいにやっていただければ構いません。それは新規事業であろうがなかろうが、従来どおり主張されているもの

に対して議論をする。ただ発表する場合においては、それを発表するかどうかは各委員会で選定をしていただければ、僕は構わないと思います。

委員長 よろしいですか。ほかに、何か御意見ございませんか。

意 見 な し

委員長 それでは、そちらについては、議長のほうから申し入れという形を取らせてもらったほうがよろしいですか。

議長 特別委員会から提言みたいな形でまとめていただいて、議会の総意を求め、それを各派のほうに持ち上げさせていただいて、総意をもって市長の方に申し入れをするというスタイルを取るのがベストかなという気がしますので、できればそういう形にさせていただけたらなというふうに思います。

委員長 わかりました。次回までにどういう形で新規事業なり、何なり、こういう計画のものを出していただいて、それに対するフォローしていく形の結果報告という形の決算のときにはこういう形でということで、フォーマットにどういう項目を列記いただくかということ要望させていただいて、あと当局の方ができるかできないかという話あるかとおもいますが、基本的にそういうものベースにして議論させていただくということで、一たん叩き台だけ時間いただいて、つくらせていただきたいなというふうに思います。それでよろしいですか。

異 議 な し

委員長 報告会と意見交換会の内容がわかりにくいということで、報告会は一方的に議会のほうから報告させていただいて、報告内容についての質疑だけしか許しておりません。意見交換会になりますと、逆に、その市民の方からこちらが議論してないような内容につきましても当然出てくるかと思えます。意見交換会につきましては、テーマをこの場で決めて議会報告会と合わせるか、別途の機会でもやらせていただくということで決めさせていただいておりますの

で、その意見交換会のあり方について、どういう運営の仕方がいいのかなというの、これはちょっと皆さんのほうの意見を伺っておきたいんですけども、知立市議会さんだとか半田市議会さん、あの辺でやられていることって、参考で見られた方ございますかね。

「あります。」と発声するものあり。

委員長 ほとんど全員ありますよね。どちらかという、あそこは当日何か意見出されて、それに対する議会側の答弁という形で所管の委員長がその場で答えられることは答えるということで行われていると思いますけども、うちが何かテーマを決めてということで、テーマを決めて今の状況を報告させていただいたあと市民の方から意見をいただくという形になるかと思いますが、その進め方について、具体的にやるべきだという意見はあるんですけどもちょっとイメージとしてどういうことを想定されているかというのは、何か御意見がありましたら、この場でも出していただければ。

意（11） 知立市議会の場合でいきますと、まず、アンケートというか意見を書いてもらって、それに答えるという形です。全般的にすべて聞くようにということでテーマではなくて、その枠を三つに分けているということをやっているそうです。ですんで、高浜市もそういう形で進めたらどうかなというふうに思いますけども。

意（13） 皆さん御案内あったと思いますけど、9日、金曜日に碧南市議会の市民クラブさんですね、これ一つの会派だと思いますけど、これが議会報告会をやられます。今お話の、知立市議会さん、半田市議会さん。特に知立市議会さんの場合は、今おっしゃったような形ですけど、その総括ができていますかどうか、まだ1年経っていないですよ、あそこもね。ですから、今やられているから、高浜が、我々が後を追っているわけですけども、その総括が、1年なのか、2年なのか、よくわかりませんが、それを私どもがやはり見させていただきながらこういう反省点があるよということをおね、やはり僕ら現場で見ての判断だけですので、あとのまとめも含めて当然ですね、総括されると思

ますので、知立市議会さんが。そういうものを受けて、我々もそれであるならこうですねという高浜モデルというものをつくったらどうかなとは思いますが。ですから、知立市議会さん、半田市議会さんということで、今度、碧南市議会の一つの会派がやられるということ、刈谷市議会さんについては、まだちょっとそういう情報は私いただいているのですが、どうですかね。

委員長 刈谷市議会は、まだやるかやらないかというところで、議会報告会自体を決めていないというような。反対意見があるということです。

意（13） 何かほかの問題で大変だったようで、刈谷さんは。そういうことも聞いておりますけども、いずれにしても、統一的なという部分ではなくて、高浜市がやはり知立市議会さんのモデルということも一つありましようし、半田市議会さんのいいところをまたいただく、碧南さんのいいところをいただくという形の中で、委員長が先おっしゃったように試行錯誤しながらねやっていけばいいかなというふうに思いますので、今、鷲見委員がおっしゃったようなことも、当然、案としては結構かなというふうに思います。

委員長 ただですね、意見交換会については、今のところ、この場でテーマを決めてそれについて意見を決めるということで、まだ実施もしていませんし、その方向でやるんでしたら一度やってみて、そこから漏れているところという話になろうかと思えます。前回のときもテーマについてはこの場で、議会改革特別委員会で決めさせていただいて、その進め方をみていて逆に皆さんのほうからもっと何か言いたい、もっとこういうことをしてもらいたいというのがあればということでお話が出ていますので、取りあえずテーマを決めたうえで一度やらせさせていただいて、その後の進め方はその後かなと思っていますので、少し知立市議会さんのやり方については、ちょっとまだこの場で議論するのは、まだ時期が早いのかなというふうに思いますので、よろしくお願いします。最後にその辺またお伺いしますけども、意見交換会、もし実施するようであれば、この場ではなくて、ある程度また時間置かせていただいて、テーマを出していただくということで、改めてまたその議会改革特別委員会開催させていただきますので、持ち帰っていただいて会派の中でお話しいただいたうえで、この場に持ち上げていただければなと思えます。

意（10） 委員長が言われたとおりですね、報告会というあり方は、今の現状が本来の報告会だと私は思っておりますので、今の知立市議会さんですか、半田市議会さん、私もそんなに拝聴したことはないわけですけど、でも1、2度拝聴させていただきましたけども、本来の報告会とは違った方向にいつているのかなというのに、少し疑問もっております。今までのことをつくるなら、また違う場面でそういう場面をつくるべきであって、報告会というのは、元来私どもの、その議会で議論したことを報告する。これが本来の報告会だと思っておりますので、その意見交換会を合わせてやるということであれば、今、委員長言われたように、今から5月に向けて委員の中で議論していけばいいのではないかなと思っております。

委員長 今、鈴木委員のほうからこういう意見が出されましたけども、よろしいですか。改めて、またテーマについては。きょうはちょっとまだ各会派の中で意見も出ていないと思いますので、改めてまた聞かさせていただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。大体、第2回の報告会については、今、出された意見でほぼ集約できているかなと思ひますけども、よろしいでしょうか。

意 見 な し

3 議会報告会開催報告の議会だより等での公表について

委員長 先に承認されている、開催要領における議会報告会の結果では、報告会のまとめ、アンケートの集計結果等を整理し、市民に公表するというところで、これは、小野田議員にデータ化してアンケートの集約をお願いした部分になっております。

副議長 今、お手元に配らせていただいたのは、これはあくまでも案ということで、まだ12月定例会については、委員会はまだ開催してませんので、きょうの議会改革特別委員会に対してのちょっと御意見を伺うということを出さ

せていただいています。ですから、今、委員長言われた、アンケートに対する御意見の部分は、どのような取り扱いをするか。それからあと表については、一応まとめたものですので見ていただければと思います。

委員長 ちょっとすみません。フリーコメントのところも、朝、見たばかりで、小野田議員がまとめてくれたもの手元にありますので、今事務局のほうにコピーさせてもらいますので。

副議長 今、あくまでもこれ2ページに渡ってなっていますが、これについては、当然、12月定例会で一般質問の人数によって多少このレイアウトも変わってきますので、その辺よろしくお願いします。

委員長 入場している人の傾向を見てみると、前回とほぼ同じかなというふうに見えます。比較的やはり高齢の方がたくさん興味持たれて来られて、内容についても前回もそうだったと思うんですけども、おおむね理解できるということで、内容的には理解いただける内容で説明できているのかなというふうに理解させていただいています。

意(10) この資料を見させていただいて、報告会の内容についてというところで、わかりづらかったと3名みえるわけですけども、ここら辺の分析の内容というのはアンケートの中では出てきておりませんか。

委員長 ちょっとまだ内容を見てもらっていませんので、すみません。

事務局より各委員へ、アンケートのフリーコメント記載の資料を配布。

委員長 今、鈴木委員のほうからお話があった内容については、ちょっとアンケート用紙そのものを見ないと多分そのわかりづらかったということが具体的に書かれているかどうかというのは、見ないとわからないと思いますので、原紙のほうでまた改めて確認させていただくということで、よろしく申し上げます。

各委員、配布された資料を閲覧。

委員長 今、アンケートの内容も見ていただいていますけども、この内容で、文言の若干の修正とあと「議会だより」とホームページに掲示していきますんで、掲示するにふさわしくないという言い方おかしいですけども、個人を誹謗中傷しているようなそういう内容は避けたいと思いますので、そういう目で一度見直していただいて、これいつまでに直せば間に合いますか。

副議長 12月定例会の最終日、翌日までということになりますので、この報告会というか、議会改革委員会・・・

委員長 今月中に、もう一度。今月末か何かで、一回、議会改革特別委員会を開いて、そこで集約すれば間に合うということ。

副議長 十分、いいです。

委員長 では、内容につきましては、そういう目で一度各派へ持ち帰っていただいで、見直していただいて、次回の議会改革特別委員会の中で議論させていただくということで、よろしいでしょうか。

異 議 な し

委員長 あと合わせて、ホームページにも掲示しますけども、内容的には、この量ですから多分まったく同じもので掲示できると思いますけども、その辺もこれ紙面見ていると余程問題ないかと思えますけども、今のところはそれでよろしいですか。「ぴいぷる」の編集のほうも。

副議長 結構だと思います。

委員長 若干その辺で枠の問題とかその辺で掲示できないということがありましたら、ホームページは多分すべて掲示できると思いますので、一部抜かせていただいて、ホームページにはすべて公開していくということでやらせていただきたいと思えますけども、よろしいですか。

異 議 な し

委員長 では、次回までにこれを見直していただくということで、よろしくお

願います。あと、これの中を見ていただいて、回答を要するようなものがあれば、またそれも各派の中で確認いただいて、できれば回答の内容まで、こういうふうで対処しますということの程度で済むようなものが、見てると机がほしいだとか、そういうことも書かれていますので、時間帯の話も先ほど若干ずらしたりしていますので、そういう形で回答を添えるものがあれば添えていただければ、それも次回までに申し訳ないですが、見直しをお願いいたします。では、そういう形で進めさせていただきますけども、よろしいですか。

異 議 な し

4 その他

委員長 議会報告会の清算報告につきましては、事務局のほうで、いろいろまとめを行なっていただいておりますけども、事務局のほうから提案いただけますか。

事務局長 この報告会の清算報告ですけれども、まだ実際には清算はいたしておりません。と言いますのは、私どものほうに各議員の皆様方がお使いになられた請求書が全部きているのかどうかということが定かではありませんので、本日の段階ではぜひとも一度それぞれ何か手配をされた経費について請求漏れがないかどうかの御確認を早急にいただいた上で、一両日中にも請求書等こちらへお渡しをいただければ、お決めにいただいております政務調査費のほうでの支出をし、それによって各会派の頭割りで御請求をし、清算をさせていただくという手順で考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

委員長 今、事務局長のほうからお話がありましたけども、今回の議会報告会の開催に当たって、資料の作成等で個人的に負担されているそういうものがございましたら、領収証を添えて一両日中にでも議会事務局のほうに提出していただきたいんですけども。もう、皆さん出されているんですよね、きっと。

委員間で、支払いの確認。

委員長 あのと、一たん締めてしまうと、なかなか動きづらいところがありますので、請求漏れのないようにもう一度確認いただいて、あすまででいいですか。

事務局長 十分です。

委員長 十分ですよ。申し訳ないですけども、あすまでの予定で提出いただければと思います。これに関しては、次回のところで清算報告させていただきます。あと、今回200部ずつ資料をつくらせていただいたんですけども、当日見ての通り30名強の出席ということで、事務局にたくさん残っております。こちらのほうも、もう処分させていただいてよろしいですか。必要な方があれば、この後、持って帰っていただければよろしいんですけど。では、先ほど申しました、アンケートの集約結果等の確認についてと次回で出せるかどうかわからないですけども、予算、決算の内容のところでは若干案を出せればと思っておりますので、次回の議会改革特別委員会の日程を決めさせていただきたいと思っています。できれば、今月末までに実施したいということで。

委員間で、次回開催日の日程調整。

委員長 それでは、次回は11月28日の午後1時30分からということで、よろしく申し上げます。次回のタイミングでそのアンケートの集約結果は、各会派のほう申し訳ないですけども、22日までに事務局のほうへアンケートの掲示内容等の確認はしていただいて、事務局のほうに集約して提出していただくようお願いできませんか。それでは、よろしいですか。そのほかに、何か皆さんのほうからございましたら。

意(10) その他ということで、今のその議会報告会に対しても特別委員会の大切な審議でありますけども、そのほかにですね、議会を改革していく上において、何か、課題だとか調査だとか検討、研究。こういった部分もですね、少しずつ手がけていただければ、ありがたいかなと思っておりますので、それは各会派の代表の方が出ておられますので、その都度ですね、こういう課

題について、あるいは来季、あるいは来年。来年でできることは来年。あるいは、来季に向けて改革をしていくものがあれば、どんどん提出していただいて、それに対して議論していくというようなことも進めていってほしいなと思っております。

委員長 今、鈴木委員のほうからそういうお話もありましたけども、次回以降、各会派のほうで議会としてどういう改革を進めていくんだということで、そういう御提案がありましたら、次回、28日の会議の場で、また最後のほうで御提案いただければというふうに思いますので、会派のほうに持ち帰っていただいて、御提案をいただきたいなというふうに思います。

意（11） きょう、ちょっと提案してもよろしいですか。

委員長 あの、各会派の意見も出そろっていませんので、今、初めて提案いただきますので。はい。よろしいですか、ちょっと御検討いただいて、次回そういう場を設けて議会報告会とちょっと離れて、議会としての改革のあり方について議論させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。他に、何かございませんか。

意 見 な し

委員長 ないようですので、以上をもって、議会改革特別委員会を終了いたします。御協力、どうもありがとうございました。

閉会 午前11時02分

議会改革特別委員会 委員長

議会改革特別委員会 副委員長